

生田緑地のキノコ追録 II

小山 明人*

Additional List of Fungi in Ikuta-Ryokuti Park, Kawasaki City

Akito KOYAMA

I はじめに

生田緑地の調査は生出ら (1987)・鬼塚・吉田 (1991)・若宮 (1997)・小山 (1998)・井口 (1998)・井口 (2003) によってその成果が発表されている。その種数は井口によると234属433分類群であるが、今回、新たな種の発生を確認したので川崎市のキノコ目録に追加する。

II 分類について

保育社の新菌類図鑑 I, II に準拠した。

III 結果

新たに4種を確認し追加する。

子のう菌類

ユーロチウム目

マユハキタケ科 Trichocomaceae

カキノミタケ

Penicillioopsis clavariaeformis Solms-Laubach.
(2004/9/25)

カキノ落下種子から生じる。

担子菌

ハラタケ目

ヌメリガサ科 Hygrophoraceae

コオトメノカサ

Camarophyllus niveus (Scop.) Wünsche
(2004/10/25)

かさに粘性があり2孢子性である。

キシメジ科 Tricholomataceae

ムレオオイチョウタケ

Leucopaxillus septentrionalis Sing. & A.H. Smith
(2004/6/22)

大型で強い臭気を有する。

テングタケ科 Amanitaceae

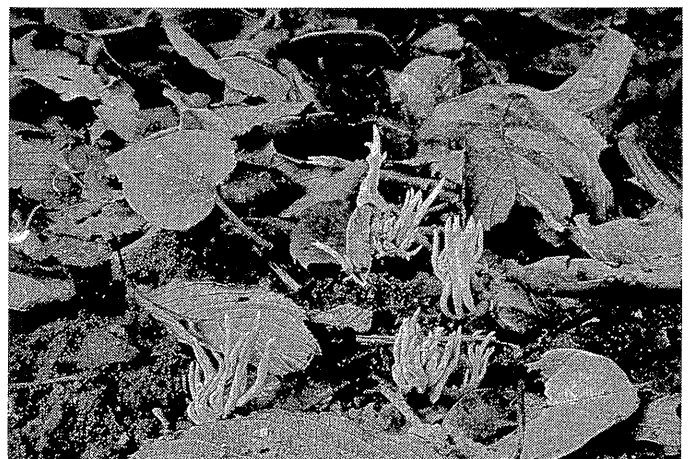
イボテングタケ

Amanita ibotengutake T. Oda, C. Tanaka & M. Tsuda
(2004/10/16)

小田氏らにより2002年に発表された種。ヒマラヤスギに菌根を作っていると思われる。

参考文献

- ・生出智哉・こけ・きのこ班 (1987) 川崎市域の蘚苔類・菌類(きのこ).川崎市自然環境調査報告 I :17-36
- ・鬼塚陽子・吉田多美枝 (1991) 生田緑地のキノコ. 川崎市自然環境調査報告 II :59-70
- ・若宮崇令 (1997) 生田緑地のキノコ追録. 川崎市青少年科学館紀要(8):25-32
- ・井口潔 (1998) 生田緑地の菌類相について (その1). 川崎市青少年科学館紀要(9):29-34
- ・小山明人 (1998) 生田緑地におけるキノコの季節的発生.川崎市青少年科学館紀要(9):35-40
- ・井口潔 (2003) 川崎市生田緑地のきのこ相一環境解析の基礎データとして一.川崎市自然環境調査報告 V :98-145
- ・今関六也・本郷次雄 (1987) 原色日本新菌類図鑑 I . 保育社
- ・今関六也・本郷次雄 (1989) 原色日本新菌類図鑑 II . 保育社
- ・幼菌の会 (2001) カラー版きのこ図鑑.家の光協会



カキノミタケ



ムレオオイチョウタケ



コオトメノカサ



イボテングダケ (成菌)



イボテングダケ (幼菌)